

# THE JC TIMES

Junior Chamber International Fuji

2020年度 スローガン

## 新たな時代を築く！ with PRIDE！

理事長あいさつ



2020年度 理事長  
**湯澤 秀斗 君**

「新たな時代を築く！with PRIDE！」のスローガンのもと、メンバー丸となりJC運動・活動ができましたことに、まずは感謝いたします。

本年度は新型コロナウイルスのパンデミックにより様々な事業や活動が中止となる中、私の掲げた基本理念「地域から必要とされる団体であれ！誇りを持って、楽しく活発に活動しよう！」でありましたが、こういう未曾有の事態でも青年会議所はまちのために活動しなければいけないと改めて感じさせていただきましたし、まちのためになにができるか改めて考えさせられた1年だったと考えますし、このような環境下で、集まらずとも支援や活動ができることを実行した年でもあります。またインターネットを多用し新たな取り組みであったハイブリッド理事会・例会を行うことができました。

初めて行うことに様々な問題点もありましたが、今後の青年会議所の運動・活動において本当に取り組んでいくべきことは何なのか、考えるきっかけになったのではないかと感じます。

まだまだ、新型コロナウイルス収束には時間がかかる中ではありますが、この1年JAYCEEとしての誇りを持って活動した経験は人生の一部ではありますが、今後の活動の役になることを祈念いたします。



2021年度 理事長予定者  
**西村 哲哉 君**

2021年度、第64代理事長を務めさせていただきます西村哲哉です。

なぜ青年会議所に時間を費やすのだろうか。新型コロナウイルスの影響により世界規模で昨日までの日常が失われ、日々奮闘している方が多いでしょう。こんな状況だからこそ仕事に集中すべきであるという意見もあります。否定はしません。しかし、一方で忘れてはならないこともあります。青年会議所という仕組みを通じて、このまちを、社会を、あなたが守るべき者のためにより良く変えていけることを。どのような立場の人も「より良くしたい」という想いは共通しています。

2021年度は、同じ想いをを持った他団体と新たなパートナーシップを結び、このまちのニーズを捉え、子どもたちの未来に残るような事業展開を目指します。また、会議体としての本質を見失わぬよう時代に合った議論を重ね、その形態も新たなものへと変化させます。そして、SNSやマスメディアを活用した広報活動にも注力しますので、2021年度も2020年度に引き続きご指導ご鞭撻の程、宜しく申し上げます。

未来を恐れず、変化を恐れず、共に挑みましょう！  
GET OVER IT！！

理事長あいさつ

## 後期事業振り返り

# 富士市の夜空を沸かせた 65発「希望の花火」

まちづくり委員会 悪疫退散！！「秘密のHANABI」大作戦

8月17日(月)富士市中央公園にて「悪疫退散！！『秘密のHANABI』大作戦」と称し事前告知なしで20時より3分間、65発の花火を富士市の夜空に打ち上げました。

今年は新型コロナウイルスの影響で地域の花火大会など恒例のイベントがほとんど中止になりました。市民の楽しみが失われつつあるいま、事態の一刻もはやい終息をねがい、また市民のみなさまが明るく元気になれる機会を提供していきたいと思ひ本事業の実施に至りました。そして、毎年富士市内で花火打ち上げに携わっている花火製造販売会社(株)イケブン様が、「地域に笑顔と楽しみ、そして元気を届けたい」という想いをもち花火打ち上げに協力していただけることとなりました。

当日は観客による密を避けるため、近隣住民の方々以外には告知をせずに設営をおこないました。当日朝から富士市中央公園駐車場の半分に規制をかけ、メンバーが常駐し公園利用者の方々に協力の呼びかけをしました。17時以降からメンバーの動員を増やし、駐車場のほとんどに規制をかけ、危険区域の立ち入り禁止の案内、各所の設営準備をおこないました。そして20時、3分間という短い時間ではありましたが、無事花火を打ち上げることができました。また、ドローンで撮影した打ち上げ花火の映像は後日YouTubeで配信させていただきました。花火を見ることのできた方々はもちろんのこと、花火を見れなかった方、富士市に帰省できなかった富士市民の方、数々のイベントが中止となり意気消沈している方など、多くの方々にとって「希望の花火」となることを祈念しております。富士市に、そしてみなさまに、明るい未来が訪れますように。



花火が打ちあがると、道ゆく市民のみなさまが驚きつつ足を止めて花火を見上げる光景がいたるところで見受けられました。



密を避けつつメンバー一丸となって規制の案内や警備をおこないました。

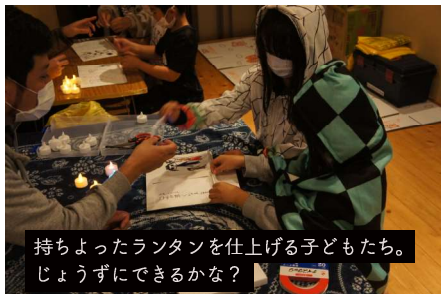


翌日、会場を使わせていただいたお礼に中央公園周辺の清掃をおこないました。

## 美しい湧水をいろどった 幻想的な「希望の灯」

青少年育成委員会 願いよ届け☆ウォーターランタンで希望の明かりをともしよう

11月7日(土)17:00～泉の郷湧水公園にて子どもたちを対象とした青少年育成事業「願いよ届け☆ウォーターランタンで希望の明かりをともしよう」を実施しました。



持ちよったランタンを仕上げる子どもたち。じょうずにできるかな？



降りしきる雨の中、子どもたちのため冷たい水に入りランタンの誘導・回収をおこないました。



例年市内の子どもたちを集めて実施する青少年育成事業。集まることのできない状況下、「子どもたちのために今できることは何だろうか？」と私たちは様々な議論を交わしました。現在、学校の長期休校、様々な行事の中止、夏休みの短縮、授業内容の制限など急激な変化による心理的ストレスを抱える子どもたちが増えていきます。そのような状況下、集まらずとも少しでも子どもたちの心をいやし、先ゆきの見えないなかでも明るい話題を提供することで未来に希望をもっていただきたい、との思いから本事業を企画しました。市内全域の幼稚園・保育園・小学校から手づくりウォーターランタンを公募し、集まったウォーターランタンは300個あまり。11月7日の日没近くとなる17時から富士市の誇る美しい湧水が流れる泉の郷湧水公園にあかりを灯し浮かべました。

当日は人数限定で一般公募した子どもたちを招き、感染対策をとりながら持ちよったウォーターランタンを組み立ててみずからの手で浮かべました。当日はあいにく雨のなかでの実施となりましたが、たくさんのウォーターランタンが湧水に浮かぶ幻想的な光景のなか、池べりから子どもたちの歓声が静かな間に染み入りました。人数限定での実施となりましたが、多くの子どもたちにこの感動を伝えるべく当日の様子はYouTubeにて後日配信しました。

新型コロナウイルス感染拡大という脅威のなか、私たちの活動は微力ではありますが、子どもたちのストレスを少しでも軽減し、未来に明るい展望を抱いていただくことを心より願っています。



# あらためて学ぶ マナーと常識

事務局  
9月例会事業  
常識確認クイズ  
—マルカバツカー—

9月18日(木)19:00より9月例会にて例会内事業として『常識確認クイズ—マルカバツカー』を実施しました。この事業は〇×で回答するクイズ形式で、ロバート議事法の基礎知識や日本JCの歴史などJCに関することや、社会人としての一般常識やマナーについて自身の常識の正確性を認識し意識を高める目的で企画しました。9月例会もwebをつかったの例会ということで様々な工夫をこらして進行をおこないました。普段大切に心がけながらも正式に勉強や確認をめったにしない作法や常識、またJCにおけるルールを再認識し、それらの重要性をあらためて実感する事業となりました。



## 富士JC初、WEBでの総会

事務局 第1回臨時総会

8月20日(木)8月例会後の19:30より第1回臨時総会を開催しました。今回の臨時総会は次年度の人事案件であり重要な総会ではありますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から通常のように一堂に会する総会の開催が困難になりました。しかしながら総会は定足数を厳守し、会員全員の意思を反映する本団体の最高議決機関なので、定款を遵守しつつ一堂に会さずとも会員全員の意思を反映できる手法の検討を重ね、今回zoomを使っての開催を実現することができました。

本総会では落合良樹君が議長をつとめ、例年にはないかたちでの開催ではありますが定款に沿いスムーズな議事進行を呼びかけました。総会の中で次年度理事役員、また次年度理事長候補者として西村哲哉君が承認されました。続いて西村君から次年度の組閣が発表され、すべての議案が承認されました。

## 姉妹JCと

### 「いまできる交流」

会員交流国際委員会

10月6日(火)19:30より湯澤理事長および会員交流国際委員会と江西青年会議所会長チョン・キソン君をはじめとする江西青年会議所メンバーでオンライン会議をおこないました。韓国の江西青年会議所とは姉妹JCとして30年以上にわたり交流を続けておりましたが、本年度は新型コロナウイルスの影響で毎年恒例である訪日・訪韓事業が中止となりました。オンライン会議ではおたがいの状況を確認しつつ、次年度理事長および会長の紹介をおこないました。また、新型コロナウイルスの動向を注視しながらも、次年度には訪日・訪韓の交流事業を再開することをおたがいに確認しました。長年つづけてきた絆を絶やすことなく、このような状況下でも「いまできる交流」を模索し、今後につなげていきたいと思えます。



## 新たなかたちでの相互理解

会員交流国際委員会 シニアと現役を繋ぐ会

7月31日(金)19:00より富士JCホームページ上にてシニアと現役を繋ぐ会を開催しました。本来であれば例年「納涼大懇親会」と称し富士JCを卒業されたシニアクラブの方々との親睦を深める恒例行事を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から一堂に会する例年どおりの開催ができなくなりました。しかし、シニアクラブの方々に現会員や今年度の状況など少しでも知っていただき、またわたしたちもシニアクラブの方々、そして活動に関して理解を深め、なにかしらのかたちで相互の親睦を深めたいという思いから、Youtubeを用いて例年どおりのプログラムに沿ってより納涼大懇親会に近づけるよう企画をいたしました。冒頭では理事長挨拶、シニアクラブ会長挨拶をおこない、富士リトルリーグ挨拶、新入会員の紹介、今年度のシニアクラブ事務局の紹介、委員会紹介をおこなって新しい顔ぶれ、新体制をお互いを知ることができました。



# 今年度、富士JCに 8名のなかまが増えました。

人財育成拡大委員会

今年度は8名の新たな仲間に入会していただきました。まずは協力していただきました諸先輩方やメンバーに感謝申し上げます。今年度入会した8名は、このコロナ禍のなか、自己を成長させたい、まちのために活動したい、仲間をつくりたいといった向上心をもつ大事な同志です。あたたかく迎え入れ、ともに活動していきたいと思えます。

青年会議所設立時から会員を増やす活動が続いている理由はなぜか。それは多くの青年にまちをよりよく変化させる力をもってもらい、よりよい未来を築いていくためです。だから私たちは、地域にいるまだ見ぬ青年に青年会議所の魅力を伝え、仲間を増やし、まちをより良くしていくのです。しかし、今年度は大きな制限があり、その中で「私は青年会議所に入りたい」と自発的に思っただけになることが本質なのだあらためて痛感しました。だからこそ私たち自身が発信力を高め、まちのためとなる活動や運動をしていくことが大事であると思えます。

直接人と人が接することが難しい状況ではありましたが、やはり直接新入会員候補の方々に会って話をするのは楽しく、自己を成長させる出会いがあります。次年度も引き続き新たな出会いを楽しみに、青年会議所の魅力を伝え共感者を増やしていきたいと思えます。



小口 竜太郎  
(おぐち りゅうたろう)  
日本料理・しゃぶしゃぶ  
はせ川

仕事は日本料理店です。長きにわたり地元に着しながら営んできました。人と人を繋ぐ料理屋でいたいと思っています。また料理はシチュエーションに応じた味、見た目に変化させることで、幅広いお客様に対応していきたいです。趣味はゴルフです。



奥石 逸貴  
(おしいし いつき)  
山本法律事務所

弁護士をしております。法的解決に馴染む紛争において、一方の代理人をするというのが典型的な仕事になります。様々な紛争やトラブルに携わるため、仕事をする事自体がとても社会についての勉強になります。趣味は、歴史です。



加茂 剛明  
(かも たけあき)  
LiveBar YOLO

仕事はLiveBar YOLOという飲食店を経営しております。弊社の強みといたしましてはアメリカのクラフトビールの品揃えです。富士・吉原地区では1番だと自負しております。醸造所ごとに味の特徴もあり、瓶のデザインも个性的で楽しめます。お客様にお気に入りの1杯を見つけて頂くのを喜びとしています。趣味はレコード収集とサッカーです。



和田 幸之輔  
(わだ こうのすけ)  
株式会社 Brains

仕事は歯科技工士です。主にセラミックやインプラントなどを作っています。歯科医院に直接出向き、患者さんとドクターとディスカッションしながら治療を進めていくのが僕のやり方です。セラミックが患者さんの口腔内にパッチリ入った時の高揚感がたまりません。趣味は野球、ゴルフです。



森 勇人  
(もり ゆうと)  
富士中央税理士法人

会計事務所として、日々の伝票作成から申告書の作成、税務(ときには税務以外の)相談まで、関与先様の経営のお手伝いをさせていただいております。関与先様と夢を語り、ともに成長できることが魅力です。趣味はジムトレーニングです。

## 新入会員紹介



青年会議所は20歳から40歳までの年齢制限があり、今年度40歳を迎えた9名のメンバーがここ富士青年会議所を「卒業」し巣立ちます。それぞれの卒業生にとって思い出深い富士青年会議所での活動を振り返っていただき、卒業に臨んでの心境を語っていただきました。ご卒業おめでとうございます。

**齊藤 恭一 2009年度6月入会**



12年間と半年のJC生活もやっと終わりの時が訪れた。様々な思い出が過ぎります。コロナ禍という見えないVirusとの闘いの真只中でこういう時期だからこそJCの真価が問われると思います。仲間を大切に、何事にもハイ喜んでの精神でこれからも活動が続きます事を卒業生としてお祈り致します。

**下田 良秀 2013年度9月入会**

7年の間皆さんや先輩方に支えられ卒業でき感謝します。人生もJCも一度きり。精一杯楽しんで、助けてくれる、そして助けたい先輩、仲間、後輩を一人ずつ作ると人生が豊かになるよ！これからもよろしく！



**落合 良樹 2013年度11月入会**



2019年に江西JCが訪日しました。中央に写っているのが私の兄弟である江西メンバーですが、この年は会長として訪日しました。非常に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

**佐野 純也 2016年度2月入会**

自分の入会申込書を見返したところ「JC活動を通じて人間性を磨き、経営者として成長したい」と書いてありました。振り返ると、一緒に活動した皆で磨き合っていたんだなあと感じます。あと体重はだいぶ成長しました。



ご卒業おめでとうございます

**井出 悦計 2016年度4月入会**

2016年の青少年育成事業の参加者が偶然近所に住んでいました。彼が成長していく姿を見守る事ができたことで、5年間青少年育成委員会に携わる事の励みとなり、富士JCに所属出来て良かったと感じています。



**内田 壮彦 2016年度6月入会**



私はJCメンバーになり、1人でやる事の限界や、物事に取組む上で大事な事は、どう時代を認識し、ビジョンを描いているか。そして私がそこにどう共感できるかを学ばせて頂きました。皆さん、本当に色々ありがとうございます。

**望月 大輔 2016年度6月入会**

JCでの学びを生かし、今後も私自身がさらに頑張ってる姿を見て頂くことが、皆様への恩返しになると思っています。本当にありがとうございました。



**遠藤 文美 2017年度8月入会**



私のJC生活、3年5か月の中でどうかい号に関わったのは3年間。大変なこともたくさんありましたが、多くの縁に恵まれ、多くのことを学ぶことができました。今の私があるのはJCでの経験のおかげです。

**金森 直人 2017年度10月入会**

会社を設立してすぐに富士JCに入会して、楽しい事ばかりではなかったけど、私個人としては、いろいろな事を経験させて頂き大きく成長できたと実感しています。JCに入会していなかったらどうなっていたんだろう…富士JCメンバー・先輩に心から感謝します。ありがとうございました。



編集後記

JCタイムス後期をご覧くださりありがとうございました。後期は事業がほぼ中止となった前期から、この状況下で必要なものをくみ取り、新たな手法で実施するという一歩進んだ段階に移行できたのではないかと思います。委員長それぞれが委員会の担いを全うするために、悩み苦闘した跡を紙面より感じていただければ幸いです。取材・作成に協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。